

ときめき隊

一月二十一日 東広島市志和町・豊栄町

「山延牧場」視察 「Tea Party」



(発表する山延さん)



(トムミルクファームでの
Tea Partyの様子)



ときめき隊は今年三度目の行事「ときめき隊のTea Party」を開催し、十一名の参加があった。今回は、東広島市志和町の山延牧場を視察し、山延豊さん、眞智子さん、伊久江さんから牧場の経営内容等の説明を聞き、その後、東広島市豊栄町のトムミルクファームの多目的ホールを借りて「Tea Party」を開催した。会には、手造りのピザやタルト、マカロン等を持ち寄って楽しく会話を楽しまれた。

また、山延伊久江さんからは、昨年七月の全国酪農青年女性会議酪農発表大会の報告と、改めて参加者の前で発表頂いた。次回行事は三月下旬として、事前に打合せすることを決めて散会された。



(山延牧場を視察)

広酪ホルスタイン改良同志会三次支部

一月二十二日

庄原市「ホテル比婆荘」

新代表に向田修実氏選任 平成二十六年 通常総会

広酪ホルスタイン改良同志会三次支部(代表 檜高祐祐)は、平成二十六年通常総会を開催し、会員十九名のうち十一名の出席があった。

討議事項の「平成二十六年事業報告並びに収支実績報告」、「平成二十七年の事業計画並びに収支予算案」、「役員改選」を審議し、原案どおり全て承認された。

新代表には向田修実氏(庄原市高野町)、新監事には前谷隆博(庄原市)氏が就任した。

総会終了後は懇親会を行い、若いメンバーも多数参加があった。日頃の飼養管理の苦労や乳牛改良の話題で盛り上がり、今年は全共も開催される年でもあって、出品に向けた意欲的な会話が終始和やかであった。

広島市酪農振興協議会

一月二十二日

はっでい亭伴店

任意組織 連携して!!

広島市酪農振興協議会(会長 渡辺和裕、会員六名)は、砂谷酪農部会(五名)と合同懇親会を開催された。広酪からは、高松むつみ所長(西部事業所)が出席し、都府県の生産量の減少等を報告した。

J A西日本くみあい飼料(株)森田次長からは、一月から三期の配合飼料供給価格の値上げ、飼料穀物等の情勢報告が行われ、その後、昼食を取りながら懇親を深められ、砂谷酪農部会の木村氏からは「次回の合同懇親会では、研修会を行いましよう」とあった。

広酪西部ミルク会

一月十六日 西部事業所

「農業女子プロジェクト」 農業界の女性を「主演女優」に！

広酪西部ミルク会(会長・西原美和、会員十八名)は、荻野喜江(おぎのきえ)次長(中国四国農政局経営・事業推進部)を講師に招き「農業女子プロジェクト」と題して講演会を開催した。

この講演会は、昨年十一月にトマト農家の取材にいられた荻野次長との意見交換会「地域で頑張っている農業女性」に西原会長が出席されたことがきっかけとなって開催された。

荻野次長からは「農業の中の女性の位置づけが重要。家族経営の中では女性が downstream。女性の感性、視点の豊かさ、行動力(口コミ)、ネットワーク力を活かして、農業界の女性を助演から主演女優にしたい」と、自身を立ち上げられた「農業女子プロジェクト」の取り組みについて説明された。



「農業女子プロジェクト」には、平成二十七年一月現

在で農業女子二百三十三名、参加企業二十企業、サポーターズ二百五十名が参加され、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業のシーズ(企業が新しく開発、提供する特別な技術や材料)と結びつけ、新たな商品やサービス、情報を広く発信していくためのプロジェクトとして、これを通じて農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信することにより、①社会全体での女性農業者の存在感を高める、②女性農業者自らの意識改革、経営力の発展を促す、③若い女性の職業としての「農業」を選択する若手女性の増加を図ることを目的に立ち上げられたものである。

研修会後には、参加者が準備された数々の料理等を頂き、和やかな懇親の場となった。

豊平町酪農振興会

一月九日 豊平どんぐり村

気持ちを新たに (温故知新)



豊平町酪農振興会(会長 宮村道徳、会員六名)は、恒例の新年会を開催され、広酪からは高松むつみ所長、加藤祐一技師の二名が出席した。

高松むつみ所長からは着任の挨拶に加え、四月からの乳価引き上げ、また、配合飼料の値上げ、組合の飼料イネ確保への取り組み等について報告した。

また、NOSA I 広島北広島支所の山形主任主事は、昨年の共済組合の合併により、組合員により身近な存在でありたいとの挨拶がされた。

今年は、北広島管内の任意組織が一つになることから、豊平町酪農振興会としての新年会は最後とあって、夫婦、家族での参加で賑やかな新年会となった。

西部酪酪会

一月二十三日 西部事業所

酪農作業の発表から新発見!

西部酪酪会(会長 砂子拓也)は十一名が参加して新年研修会を開催した。

今回は日々の酪農作業において、工夫しているところを各自で持ち寄り発表された。発表者の中には「自分の日々の作業では特段工夫しているところはない」と前置きした上で、「搾乳時にバケツに湯を入れ、冷めたら次亜塩素酸を入れてタオルを洗い、乳房を拭く。」「牛床に乳が漏れたら、すぐ水で流し殺菌剤で拭き、オガ粉を敷き、乳房炎防止に努めている」等の紹介があった。これに対し、他の会員は驚き「一番、工夫しているのではないか!」と、相互に良いところを学び合うことが出来た。

参加者は「日々の自分の作業は身体に染みついていて、言われるまで気付かなかった」と感想を述べられ、新たな改善点等を見つけて出す一歩となった意義深い新年研修会となった。

さあ、また意欲旺盛でチャレンジしよう!! エイエイオ!



西部酪酪会

一月二十日 西部事業所

我が家の子牛の育成は…

西部酪酪会(会長 砂子拓也、会員十五名)は、酒井亮獣医師(NOSA I 広島北広島家畜診療所)を講師に招き「乳用牛子牛の育成管理」の研修会を開催し十六名の参加があった。広酪からは西部事業所の高松むつみ所長、加藤祐一技師、本所事業推進課の河野洋一職員が参加した。

研修会は「子牛育成管理アンケート」を事前に配り、それぞれの牧場での子牛の管理状況を発表後に開会した。酒井亮獣医師は「子牛の育成は将来その牛の能力を十分に発揮させるための準備期間であり、育成期間中に発育させなければならぬ器官として体格、消化機能(第一胃)、乳腺の発達、正常に発育させるには出生からの栄養(特に蛋白質)のバランスが最も重要である」と説明された。

研修後には、出生時の処理、初乳の与え方、水の制限、スターターの給与等、事前の各牧場における作業手順等についてアドバイスが行われた。



あきたかた酪農振興会

一月二十七日 たかみや湯の森

今こそ創意工夫を!

あきたかた酪農振興会(会長 玉浦転、会員十六名)は勉強会を開催し、長尾真志氏(全酪連三次駐在員事務所)から穀物相場、乾牧草の飼料情勢の報告、寺道弘生事業推進課課長補佐(広酪)から酪農情勢の報告を受け意見交換を行った。

会員からは乳価情勢、体細胞数の見直し、牛白血病対策、乳脂肪の緩和等の意見があった。

午後からは、関係機関を交えて新年会を開催し、玉浦会長は「昨年は組合員の怪我が多く、今年は病気・怪我の無い一年にしましょう」と挨拶され、木原組合員の乾杯発声で新年会を始めた。TMR利用者のお話を聞き、乾草の値段が上がっていく中「今後TMRの利用を検討してみたい」との意見があった。酪農家の皆が集まれば『儲からん』の話ばかりだが、「儲けた酪農家の話を聞いて、知恵を絞って自分なりにアレンジして想像を膨らますことも大事」との意見もあり、今年一年の飛躍を誓われていた。



甲奴郡酪農組合

一月二十七日 東部事業所

スローガン「挑戦」不況の壁を打ち破ろう!! 新組合長に溝辺清春氏

甲奴郡酪農組合(組合長 伊達薫、組合員十九名)は、平成二十六年通常総会を開催した。実出席は十七名、委任二名の出席から総会は有効成立し、提出議案は全て承認可決された。

伊達組合長からは「年々組合員も減少しています。不況の中、色々な策を考えてやって頂いていると思いますが、更に目標を高めにもって、より邁進して欲しいと思います」と挨拶を述べられた。

続いて、来賓として出席した岩竹重城組合長(広酪)は、最近の酪農情勢を踏まえ、四月からの乳価三円の値上げ、TMR利用状況等の報告等を述べて、「酪農家が減少して生産乳量も目標に及ばない。皆さんにはしっかり搾って頂き、餌を利用して頂きたい。組合も舵取りをしっかりとっていかねければならない」と挨拶した。

今年度は役員改選にあたり、新役員を決定し溝辺清春さんが代表挨拶で「三年の任期を、このメンバーで甲奴郡酪のために捧げ頑張ります。新組合長は後日役員会で決定しますので宜しくお願いします」と抱負を述べられた。

今年度のスローガンは目標を高くし、前向きに進んで不況を乗り越えようとの考えで「挑戦、

不況の壁を打ち破ろう」を掲げ、広酪と同調して事業に取り組むこととされた。

また、乳質向上に全員で努力し、乳成分・体細胞数・生菌数の全てのペナルティが年間通して五回以内、もしくは前年度のペナルティ回数の二分の一以内に半減、乳量が昨年より増産された方の表彰があり、計十八名が表彰された。

総会終了後は組合員の家族、NOSA I 島の職員も出席され、鈴木道弘専務(広酪)の挨拶に続き、小役丸課長(山陽乳業(株))の牛乳乾杯の発声で終始和やかな年初めの会となった。

その後、二月九日に開催された役員会では、新組合長に溝辺清春さんを互選し就任を決定された。



庄原地域酪農振興会・庄原ミルクの会・庄原メンバーズクラブ

一月二十八日 庄原市「比婆観光本店」

庄原地域合同新年会

庄原地域酪農振興会と庄原ミルクの会、庄原メンバーズクラブは合同で新年会を開催し、旧庄原市内の酪農家及び庄原市職員、広酪からは岩竹重城組合長、寺道弘生課長補佐、藏崎哲治課長補佐(事業推進課)約二十名が参加した。

庄原地域酪農振興会の赤木靖会長は開会挨拶で振興会行事への協力の御礼、今後の行事予定を伝え、岩竹組合長からは組合情勢と酪農情勢に触れ挨拶した。

庄原市の片岡係長からは市の畜産振興支援事業の説明と活用を求められた。懇親会では藤岡辰彦氏(広酪理事)の乾杯発声で懇親会を始め、厳しい酪農状況を乗り切る糧になればと各々情報交換等が行なわれていた。会は終始和やかな雰囲気であった。

